



大山ニュース

発行元:
大阪府議会議員 **大山 明彦**
〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202
TEL 072-999-4649
FAX 072-999-8739
E-mail: ooyama@komei-fu.com



大阪府議会9月定例会前半(9月27日~11月8日)

健康福祉常任委員会報告

大山明彦 府議会議員

児童虐待防止施策の強化、がん患者支援の充実、
介護人材の確保策など活発な議論を展開

大阪府議会9月定例会前半において、大山府議会議員は健康福祉常任委員会で、児童虐待防止施策の充実、介護職のイメージアップ、手話言語条例に基づく事業展開、国民健康保険制度改革、がん患者支援のためのアピアランスケアの実施や重粒子線治療での費用助成などについて質疑を行い、府民福祉の向上を訴えました。

児童虐待撲滅へ! 子ども家庭センターの相談支援体制を強化し、 市町村の「子ども家庭総合支援拠点」の整備を促進!

大山府議は、近年、大阪府子ども家庭センターの虐待相談件数が増加傾向にある中、児童福祉法の改正により、児童心理司や医師または保健師、児童福祉司を指導するスーパーバイザーの配置が規定されたことに加え、弁護士の配置など、子ども家庭センターの専門職配置の充実が求められている。さらに、家庭裁判所による司法関与が強化されてことに伴い、特に法律に関する専門的な業務が増加するため、子ども家庭センターの体制を強化する必要があると指摘した。府は、「着実に体制整備を行うとともに、今後、弁護士との連携を深め、日常的に相談できる体制を充実し、重篤事案にも的確に対応する。」と答えた。

さらに、大山府議は、今後市町村が設置する必要がある、子どもと

その家庭、妊産婦等から子どもに関する相談全般を受ける「子ども家庭総合支援拠点」の整備についても、市町村への支援を強化し、設置を促進するよう訴えた。



介護人材確保のため、 介護職のイメージアップを図る!

大山府議は、今、介護の現場においては、深刻な人材不足となっている。特に、中核的な役割を果たすべき介護福祉士を目指す若者が減ってきていることを指摘し、処遇改善はもとより、次代を担う若者に対して、介護という重要な仕事に対する理解を深めるため、福祉教育や教員の研修など、教育庁と連携強化を図ることが重要。さらに、思い切ったイメージアップ戦略を展開するよう求めた。府は「教育庁と福祉関係者との定期的な意見交換の場を設ける。これまで以上に一体となって取り組んでいく。介護の仕事の魅力ややりがいについて効果的な情報発信ができるようにしたい。」と答えた。

大阪国際がんセンターに、アピアランスケア に特化した相談時間帯を設定!

大山府議は、がん患者さんの、化学療法による脱毛や皮膚の変色、手術による外見上の変化は、患者さんの社会生活に影響を及ぼす。「アピアランスケア」は、外見上の変化を和らげ、不安や悩みを少しでも軽減する重要な患者支援であるため、大阪国際がんセンターにアピアランス支援センターを早期に設置するよう求めた。府は、「新たにアピアランスに特化して相談を受ける時間帯を設定するなど、患者の視点に立ったサービスの充実を図る」と答えた。さらに、大山府議は府内64のがん診療拠点病院においても、アピアランスケアが充実されるよう、府が働きかけて行くよう訴えた。



土砂災害現場へ急行!

台風21号による大雨で、土砂崩れが発生した現場を熊野参議院議員とともに視察。林野庁、大阪府より被害状況の説明を受け、今後の対策を協議した。治山ダム、砂防ダムには大量の土砂や流木が溜まっており、河川も土砂により塞がれ、林道が川ようになっていた。速やかな復旧を求め、今後の安全対策を協議した。



大山あきひこプロフィール 現職3期、公明党大阪府議団副幹事長／健康福祉常任委員会委員／公明党大阪府本部副幹事長／公明党大阪府本部団体渉外局長／公明党河内総支部長／大阪工業大学校友会八尾柏原支部長／八尾市日中友好協会参与

